正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

3月号 2023

今年もやります！

国境なき医師団との【人道援助コングレス東京】



今年は“自分ゴト”をテーマに、人道支援をより身近に感じてもらえるよう、“入門編”としてプレイベントも企画！パックンマックンが進行役となり、「人を助けることで何がどう変わるの？」「私たちにできることがあるとしたらどんなこと？」といったシンプルな疑問を取り上げます。さらに、会場参加者には特典として、イベント後に登壇者と深掘りできる非公開セッションの場もご用意しました！奮ってご参加ください。

入門編 人道支援を支えるのは私たち SNS 時代に一人ひとりができること



入門編・プレイベントの詳細はこちら

発展編　顧みられない危機に光を



プレイベント後には、「顧みられない危機に光を」をテーマに、改めて世界で起きている人道危機打開に向けて、立ちふさがる課題を取り上げます。国際協力に関わる実務者、政策立案者、研究者間の対話を促す一方で、民間企業や国際協力に関心のある学生、報道関係者を巻き込んで、いま必要とされる人道支援とその在り方について話し合います。

発展編の詳細はこちら



ICRC職員として人道支援の最前線で活動を続ける三田真秀（みた・まさよし）が、４月17日のセッション「ミャンマーの今を探る」に登壇します。2012年に初任地パレスチナで国際要員として活動を始めて以来、昨秋までミャンマーで保護活動に携わってきました。カギとなるのは、“国際人道法の知識”と“コミュニケーションスキル”。現場での奮闘を語っています。

改善できることは大きなやりがい」

【目次】

紛争の現場から
・１本の道がつなぐ希望―ラチン回廊を経由した支援―
・紛争の最前線での支援―激戦地バフムトの人々―

世界のトレンド
・人道支援を脅かす“MDH”＝誤情報・デマ・ヘイトスピーチ
・160周年を迎えたICRCの初の女性職員！いつ、だれがどんな仕事をしていたの？

日本人に知ってもらいたい
・水へのアクセスを途絶えさせない

駐日代表部だより
・いまさら聞けない「人道援助」とは？―戦争のルールと3つの原則―

紛争の現場から



アルメニアとアゼルバイジャン間にある係争地ナゴルノ・カラバフ地域には、「ラチン回廊」と呼ばれるアルメニア側へ抜ける「唯一の陸路」が存在します。この地域には、生活用品や医療物資が届きにくくなっています。

支援を届ける１本の道：ラチン回廊

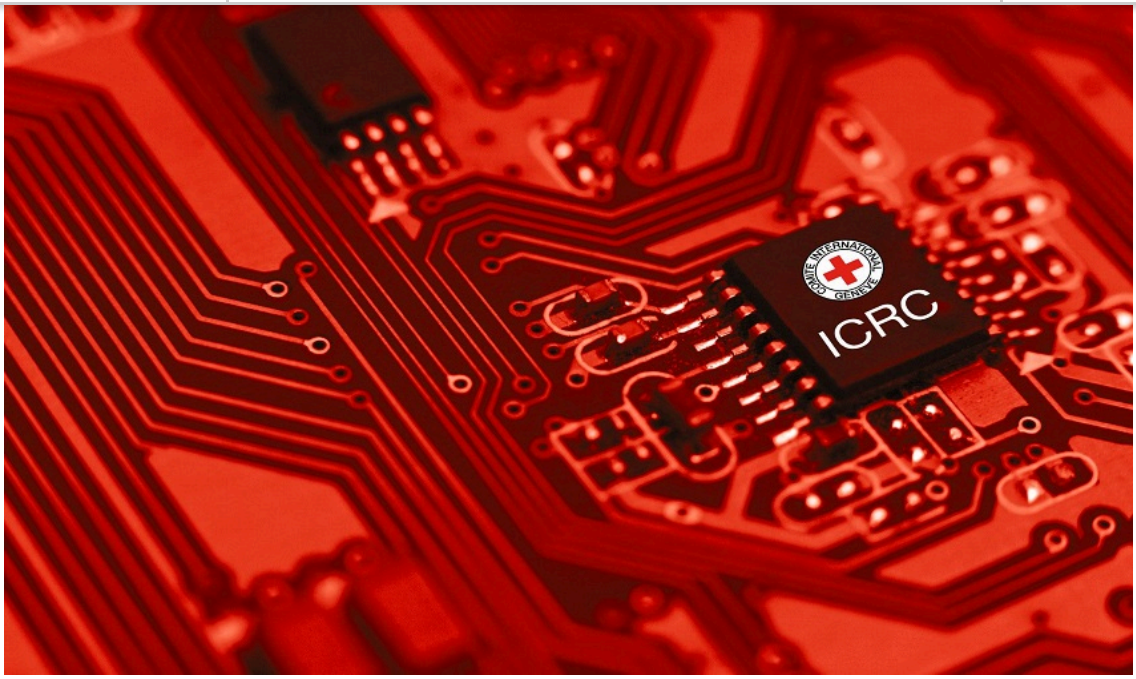


紛争の最前線での支援
—激戦地バフムトの人々—

ICRCは３月半ば、激戦地のバフムト一帯にいる人々に援助物資を届けました。内容は、１カ月分の食料と衛生用品一式、そして医療・保健施設用の安全な水です。

ウクライナ激戦地：バフムトでの支援

世界のトレンド



人道支援を脅かす“MDH”
＝誤情報・デマ・ヘイトスピーチ

MDHは、人道支援そのものや支援対象者に深刻な危害をもたらす恐れがあります。例えば、風評被害を受けて信頼が損なわれれば、緊急支援がきちんと届けられなくなってしまったり、ヘイトスピーチが広まれば、特定の民族や人道団体への攻撃を煽ることへもつながったりします。誤情報やデマ・ヘイトスピーチの拡散は、国際人道法の原則に背くことにもなり得るんですよ。

MDHの影響と実害



160周年を迎えたICRCの初の女性職員！
いつ、だれがどんな仕事をしていたの？

３月８日は国際女性デーでした。その昔から、ICRCでも多くの女性がスタッフや看護師として活躍してきました。写真の女性は、マーガレット・クレイマー。第一世界大戦下において、ICRC初の女性デレゲート（国際要員）として被拘束者を訪問したり、外交官としてジュネーヴ条約の起草に携わりました。国際人道法の発展に重要な役割を果たし、ICRC組織内で女性が活躍するための地ならしを行いました。

日本人に知ってもらいたい！



２月上旬に発生したトルコ南部大地震で、震源地に近いシリア北西部も深刻な被害を受けました。長期化する紛争の影響で、もともと破損・老朽化が進んでいたシリアの水インフラ。避難した人々が暮らす仮設シェルターには、850人に対してトイレが7つしかないなど、その状況は深刻です。

壊滅的な人道上の被害の回避を

現在、国内パートナーの日本赤十字社が救援金を受け付けています。寄せられた善意は、ICRCのシリアでの被災者支援にも充てられます。

日本赤十字社　トルコ・シリア地震救援金

駐日代表部だより



いまさら聞けない「人道援助」とは？
―戦争のルールと３つの原則―

「困っている人を助けたい」という気持ちから始まる人道援助。実際にどんな活動をしているのか、そして、援助の際に大切にすべき原則とはどのようなものなのでしょうか。なくならない戦争にも守られるべきルールがあります。なぜ戦争にはルールが必要なのか。大学生と国境なき医師団のスタッフとともに語り合いました。

前編：「人道援助」ってどんな活動なの？

後編：いま「戦争のルール」を考える

その他のニュースはこちら

© 2023 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

